

平成22年3月3日

もりどうしん ダム守同心情報連絡票(第42号)

この情報連絡票は、灰塚ダムのダム守同心の方々並びに関係者の皆様に三次河川国道事務所灰塚ダム管理支所から灰塚ダム及びハイヅカ湖に関する情報をお届けするものです。

1. フラッシュ放流を行います～江の川水系のよりよい河川環境づくりを目指して～

江の川水系にある、灰塚ダムと土師ダムは、ダム下流の川の環境を保全することを目的に、以下の日程でフラッシュ放流を行います。

フラッシュ放流は、ダムに貯めた水を使って、人工的に小洪水を起こすもので、それによりアユの餌となるコケや川底の泥などを洗い流します。

フラッシュ放流実施日 ◇灰塚ダム 3月18日(木) 9:30～
◇土師ダム 3月23日(火) 9:00～

※ フラッシュ放流の詳細については、同封のチラシをご覧ください。

2. 「第5回ダム守同心会議」を開催しました。



去る1月28日(木)に、三次市吉舎町の知和管理棟にて「第5回ダム守同心会議」を開催しました。ダム守同心メンバーや各関係機関から27名の皆様にご出席いただきました。

会議では、ダム守同心活動状況の報告や事例紹介、各種情報提供、平成22年の取組みについての意見交換等を行いました。これらにより、現在のハイヅカ湖とその周辺が抱える課題を参加者の間で共有することができたのではないかと考えています。

不法投棄の防止や防災・防犯、公共施設の適切な管理、外来魚の再放流禁止などの環境面の取組みなど、ダム守同心活動をより実りあるものにするためには、なお一層この活動に参画いただいている皆様との連携を密にする必要があることを再認識しました。

〈主な議事と内容〉

【1. ダム守同心実施要領の改正について】

要領の別表「活動に参加いただく関係機関一覧表」に掲げる機関名の改正を事務局より提案し、会議の参加者から了承いただきました。

| 変更前 | 変更後 |
|-------------------------|-----------------------|
| 広島県備北地域事務所 建設局 管理課 | 広島県北部建設事務所 管理課 |
| 広島県備北地域事務所 建設局 庄原支局 管理課 | 広島県北部建設事務所 庄原支所 管理用地課 |

【2. ダム守同心メンバー・地域、関係各機関からの情報提供・活動報告】

【庄原警察署】

- ・管轄内の事故等は3件だが、ダム周辺に関する大きな事故等はなかった。
- ・ゴミの不法投棄に関して、車のナンバーが分かれば個人の特定につながるので協力をお願いしたい。

【三次警察署(三良坂)】

- ・平成14年以降、事故等は20件前後で推移していたが、平成21年は6件で、ダム周辺での事故等はなかった。
- ・ゴミの不法投棄は、テレビの不法投棄が1件あった。
- ・ダム湖周辺の巡視をしているが、駐車している無人の車はたいてい釣り客や散歩の方が多い。中に人が乗っている場合は声かけをすることで対応している。

【三次警察署(吉舎)】

- ・ゴミの不法投棄に関しては、車のナンバーが分かれば教えてほしい。今後も情報交換をしてきたい。
- ・不法投棄禁止の立て看板があれば効果があると思う。
- ・湖域内で立ち入り禁止の場所があれば教えてほしい。見回り等で見つけた際に対応できる。
- ・安田地区で不審者が1名出没している。車のナンバーは把握済み。通報等、協力をお願いしたい。

【備北地区消防組合】

- ・火災は平成20年;87件、平成21年;75件、救急は平成20年;3905件、平成21年;3706件、救命は平成20、21年;73件。
- ・水難事故は平成20年;4件(江の川でカヌーの転覆)、平成21年;0件、水質事故は平成20年;1件(水路での油の漏洩)、平成21年;0件。
- ・水中探査装置を配備した。潜水できる人員もいる。

【広島県北部建設事務所 管理課】

- ・水質事故やその他大きな事故は無かった。

【広島県北部建設事務所 庄原支所・管理用地課】

- ・水質、油の流出事故が4件、ダム周辺では0件だった。
- ・管内図を更新した。

- ・のぞみが丘でアダプト制度の「マイロードシステム」を活用してもらっている。

【のぞみが丘運営協議会】

- ・不法投棄が多い。不法投棄を禁じる看板を立ててほしい。
- ・景観の課題として挙げていた大谷地区の白色ガードレールのペイントが、地元高校生との協力のもと実現した。
- ・三良坂町矢田地区の建設残土処理場そばの私有地にゴミがある。工事発注者（国）として業者に指導をお願いしたい。
- ・灰塚大橋のたもとにある根元から折れ曲がっていた道路標識が直っていたが、無理やり直しただけのもので醜い。対処をお願いする。
- ・オの埵広場に木切れを貯めている。今現在、貯水位が上がっており、これからどうなるのか教えてほしい。
⇒ダム管理者：灰塚ダムでは3月のフラッシュ放流に備えて現在貯水中である。あと8cm貯水する計画なので、対応をお願いしたい。

【安田自治振興会】

- ・ユキワリイチゲ等が開花している。来月から催しがあるのでぜひ参加いただきたい。
- ・3月の第2日曜日に開催している「ひまわり駅伝」を今年も開催する。
- ・衛生組合から上下川への下水の流入を終了した。
- ・不法投棄がしにくい環境づくりをしていくための具体的な方策が必要である。
- ・離合できないくらい雑草が伸びている箇所がある。そういった箇所から管理してほしい。

【仁賀振興会】

- ・川に泡が多くなった。乳化したような水が流れてくる。ダム管理者は事前に把握しているなら、早く地域に情報を出してほしい。
- ・平成21年12月にダム記念公園付近の川の中で猟銃による発砲があり発砲禁止を呼びかける看板を立ててもらったが、あまりに簡易なものである。地域住民の安全に対する配慮に不安を感じる。
- ・ダム記念公園にSUV車が入ってバーベキューをしたり、車いすのスロープから軽トラックが侵入したりしている。
- ・外部から休憩に来て止まる車が竹やぶ等にゴミを捨てる。
- ・公園併設のトイレへのいたずら、落書きがひどい。

【木屋自治振興区】

- ・今年5月4日開催予定の「抱きしめて笑湖ハイヅカ」で、一斉ごみ拾いをしたいと考えている。きれいな環境づくりが地域活性化になると思う。
- ・イノシシ対策、雑草対策が必要。

【稲草西自治振興区・田総川漁業協同組合】

- ・倉谷トンネル～なかつくに公園沿いの県道は冬場は凍結する。朝はかなり車の往来があり、危険だと感じている。対策をお願いしたい。
- ・陸封アユの春の遡上が今年も期待される。「セツブンソウ祭り」も3月7日にあるので見に来てほしい。

【江の川漁業協同組合】

- ・灰塚ダムのブラックバスの流下、オオカナダモの増殖があり、強く危惧している。
- ・江の川のアユ放流を実施しているが、放流量に対して2割程度しか採れなくなっている。

【三良坂ピオーネ生産組合】

- ・このような会議の場で、皆さんからの情報をいただきながら、今後も活動していきたい。

【三次市三良坂支所】

- ・民俗資料館が今年4月にオープンする予定。観光スポットになるよう取り組んでいくとともに、陶芸や木工等ができて、人が集まれる場所としての活用にも重点を置きたい。

【三次市吉舎支所】

- ・市道管理、草刈りは、皆さんから見れば不十分かもしれないが、順次、実施している。

【庄原市総領支所】

- ・セツブンソウ等の行事を予定している。
- ・関係機関と連携し、地域づくりに取り組んでいきたい。

【三次市水道局】

- ・三次市水道局は、灰塚ダム下流の馬洗川より取水し、向江田の浄水場より給水を行っている。遠方では、安芸高田市との境の上川立町までを給水区域としている。今後も安心・安全な水を皆様のご協力のもと、供給していきたい。

【庄原市水道課】

- ・平成20、21年の渇水時には、灰塚ダムからの補給により尾関山(三次市)の維持流量が確保されていたので、安定した取水を行うことができとても助かった。ダム守同心の安全点検等、参加していきたい。

【3. 平成21年のダム守同心活動報告・事例紹介】

平成21年の4月中旬～下旬に実施した「ハイツカ湖周辺施設安全利用点検」の報告やダム守同心メンバーからの情報提供事例の紹介を行いました。

「安全利用点検」については、ハイツカ湖周辺の地域を6つのエリアに分けてそれぞれの地域にある人が集まる施設について利用者の視点から危険性をチェックした結果と対応状況を報告しました。なお、点検結果のうち未対応の項目の今後の対応についてご意見をいただきました。

ダム守同心メンバーからの情報提供事例については、各々の内容(不法投棄・公共施設に関するものなど10件)と対応状況について、不法投棄の状況マップなどを交えて紹介しました。

【4. 主な意見交換・質疑内容】

- 水道局は水を使う立場であり、水源地は、使う人がきれいにするのが筋だろう。水道局は啓発活動等をすべきだ。啓発活動を広げていくためには、ダム管理者が治水や利水についての情報を出さなければ理解が広がらない。
- フラッシュ放流によって河床がきれいになるのであれば、そこで育ったアユをブランド化できないものか。(以上、のぞみが丘運営協議会)
⇒・今の時点ではちょっと、難しい。

フラッシュ放流は、水が出ない時期ではなく、出水時に上乘せした方が効果があると思う。(以上、江の川漁業協同組合)

- 三次市・庄原市の受益者に環境税を導入し、水源地域の取り組みに充てるのはどうか。
- ただ「ゴミを拾って」ではなく、ポケットパーク等、「きれいな場所をつくる」ためにゴミ拾いをする方が建設的と思う。(以上、江の川漁業協働組合)

【5. 平成22年の取組みについて】

平成21年の活動報告等を踏まえ、平成22年の取組みについてダム管理者より提案と呼びかけを行い、参加者の了承を得ました。

- (提案1)平成22年4月ハイヅカ湖周辺施設安全利用点検の実施
- (提案2)第6回ダム守同心会議の開催
- (提案3)「ハイヅカ湖地域ビジョン」との協力体制
- (呼びかけ1)「ハイヅカ湖一斉清掃(仮称)」について
- (呼びかけ2)「ゴミ捨て禁止」看板の設置について

その他、多くの貴重な意見、情報をいただきました。

その場で回答できなかったものについても、今後検討を行い管理に反映していきたいと思っておりますので、引き続きよろしく申し上げます。

3. 3月3日(水)8:00現在のダム諸量

本日のハイヅカ湖への流入水量は毎秒4.97トン、ダムから下流への放流量は毎秒8.34トンです。

フラッシュ放流に必要な水を貯留しており、ダムの水位は常時満水位(標高231.2m)より約1.9m程度高くなっています。

才の峠広場など水際が上がっていますので、湖面利用等される場合はご注意願います。

4. 本号の最後に

最近春が来たのではないかと感じられるくらいあたたかい日が多いですね。新しい季節が巡ってくると、(個人的にですが)何か新しいことを始めたいと思う今日この頃です。今一番したいのが、体を動かすことです。冬の間、普段ただでさえ動かすことの少ない体が固まったようになり、腰痛がひどくなったりします。3月14日の吉舎町の安田で「安田ひまわり駅伝」、3月21日の三良坂町の「三良坂ハイヅカ湖健康マラソン」など各地で様々なスポーツイベントが開かれるとのことですが、こういった機会を捉えて体を動かすようにしたいものです(なお、最近全力疾走したところすぐ息が上がりましたが)。

なお、日中あたたかい日が多くなったといっても、夜冷え込んだり、まだまだ寒い日があるかもしれないので、皆様におかれましても、天気の変わりやすいこの季節、体調にはくれぐれも気をつけていただきますようお願いいたします(k)。

※なお、当日会議に出席できなかったダム守同心の皆様・関係機関の皆様へ
本号に当日の配付資料を添付しております。ご覧下さい。

◇ 問い合わせ等連絡先 ◇

国土交通省 三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所

管理支所長 浜田 健一 (hamada-k87hg@cgr.mlit.go.jp)

事務係長 片山 直行 (katayama-n87hd@cgr.mlit.go.jp)

〒729-4302 広島県三次市三良坂町仁賀1575

電話:0824-44-4360(代) FAX:0824-44-3544